

第65回日本産婦人科医会記者懇談会
平成25年5月8日@日本記者クラブ

産婦人科医師の地域偏在

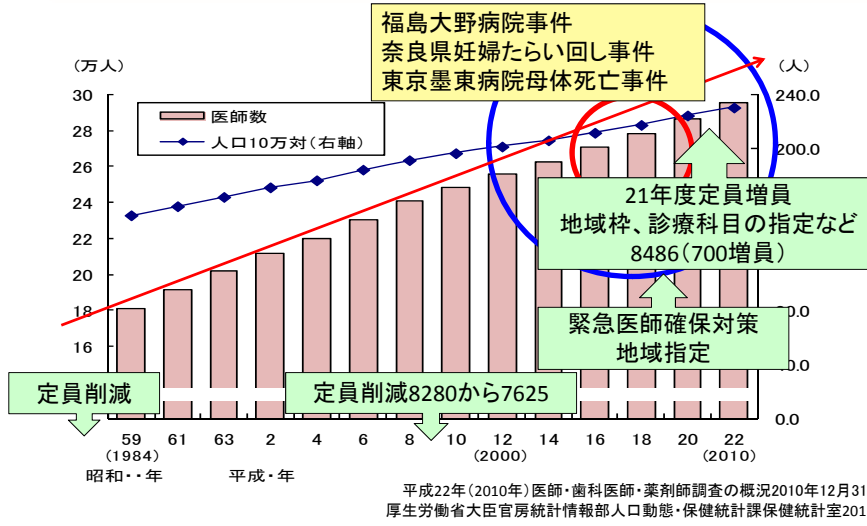
日本産婦人科医会常務理事
日本医科大学
中井章人

産婦人科医師の地域偏在

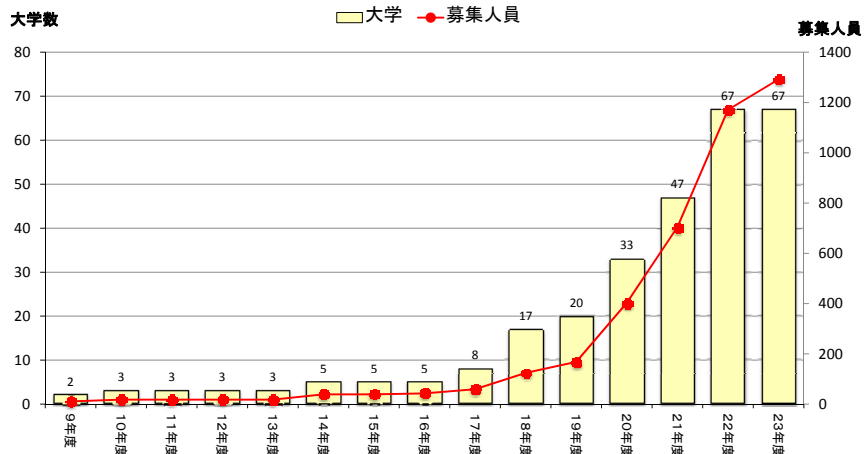
- ① 全国届出医師数の推移
2. 産婦人科医師数の推移
3. 都道府県毎の状況
4. 分娩を取扱う医師の動向

全国の届出「医師数」295,049人
 男性 239,152人(81.1%)、女性55,897人(18.9%)

前回調査に比較し8,350人(2.9%)増加し、人口10万対医師数は230.4人

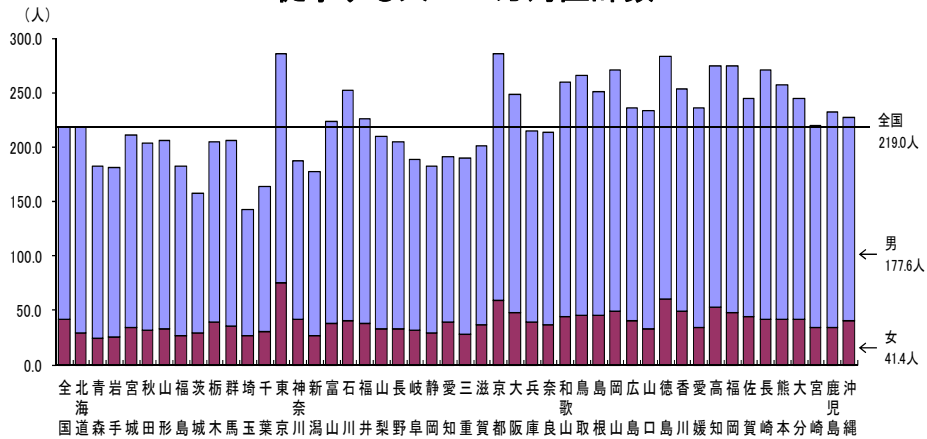


地域を指定した入学者選抜(地域枠)の導入状況



84%の大学が地域枠を導入
 全入学者の16%が地域枠

都道府県(従業地)別にみた医療施設(病院・診療所)に 従事する人口10万対医師数



医師数は西高東低

平成22年(2010年)医師・歯科医師・薬剤師調査の概況2010年12月31日現在
厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課保健統計室2011.12.06

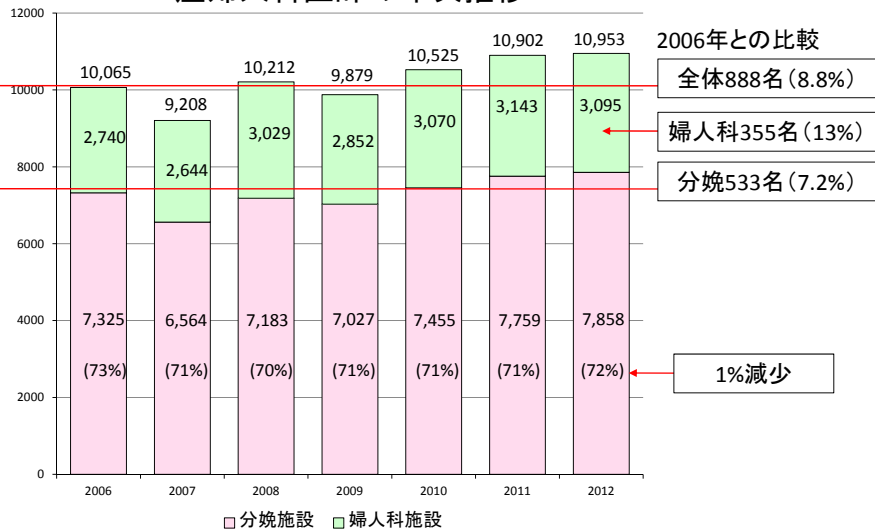
産婦人科医師の地域偏在

1. 全国届出医師数の動向
- ② 産婦人科医師数の動向
3. 都道府県毎の状況
4. 分娩を取扱う医師の動向

日本産婦人科医会施設情報調査2006-2012

回収率	総医師数	分娩施設				婦人科施設				
		病院		診療所		病院		診療所		
		施設数	医師数	施設数	医師数	施設数	医師数	施設数	医師数	
2006	96%	10,065	1,223	5,057	1,755	2,270	337	392	2,590	2,346
2007	88%	9,208	1,090	4,485	1,584	2,079	318	373	2,429	2,271
2008	96%	10,212	1,138	4,927	1,647	2,256	380	449	2,637	2,580
2009	90%	9,879	1,055	4,915	1,521	2,112	357	408	2,459	2,444
2010	96%	10,525	1,084	5,242	1,554	2,213	394	451	2,599	2,619
2011	97%	10,902	1,084	5,571	1,540	2,188	398	472	2,580	2,671
2012	96%	10,953	1,077	5,686	1,508	2,178	397	483	2,512	2,606
2006年比		888	-146	629	-247	-96	60	91	-78	260

産婦人科医師の年次推移



大部分の新人が分娩取扱い施設でキャリアを始めるにもかかわらず、分娩取扱施設の増加率は低い。

医師数の年次推移

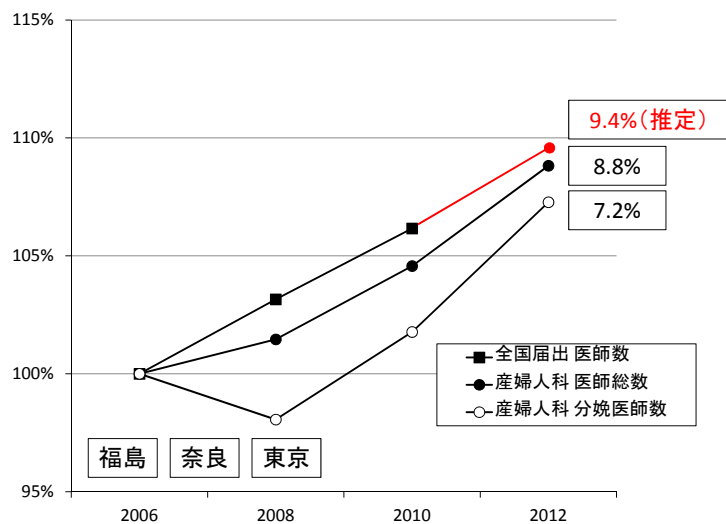
	厚労省調査*		日本産婦人科医会	
	全国届出 医師数**	産婦人科 ・産科***	産婦人科 医師総数	分娩取扱 医師数
2006	277,927	10,074	10,065	7,325
2007	—	—	9,208	6,564
2008	286,699	10,389	10,212	7,183
2009	—	—	9,879	7,027
2010	295,049	10,652	10,525	7,455
2011	—	—	10,902	7,759
2012	未公表	未公表	10,953	7,858

*厚労省：医師・歯科医師・薬剤師調査

**全国届出医師数

***従事する診療科目(主たる)「産婦人科・産科」の医師数

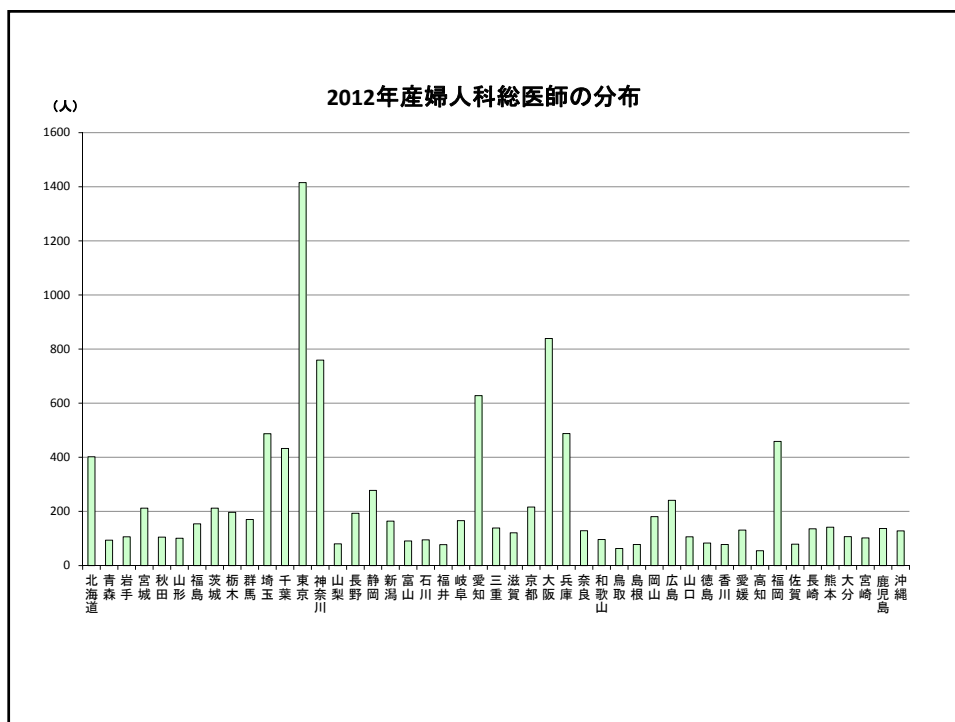
医師数の年次推移

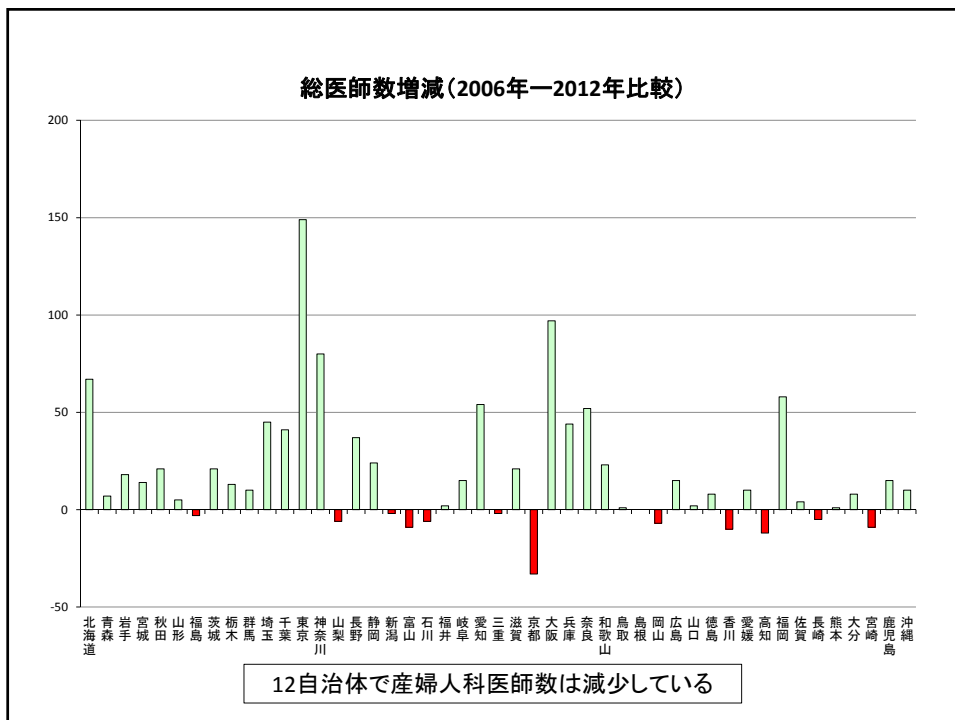
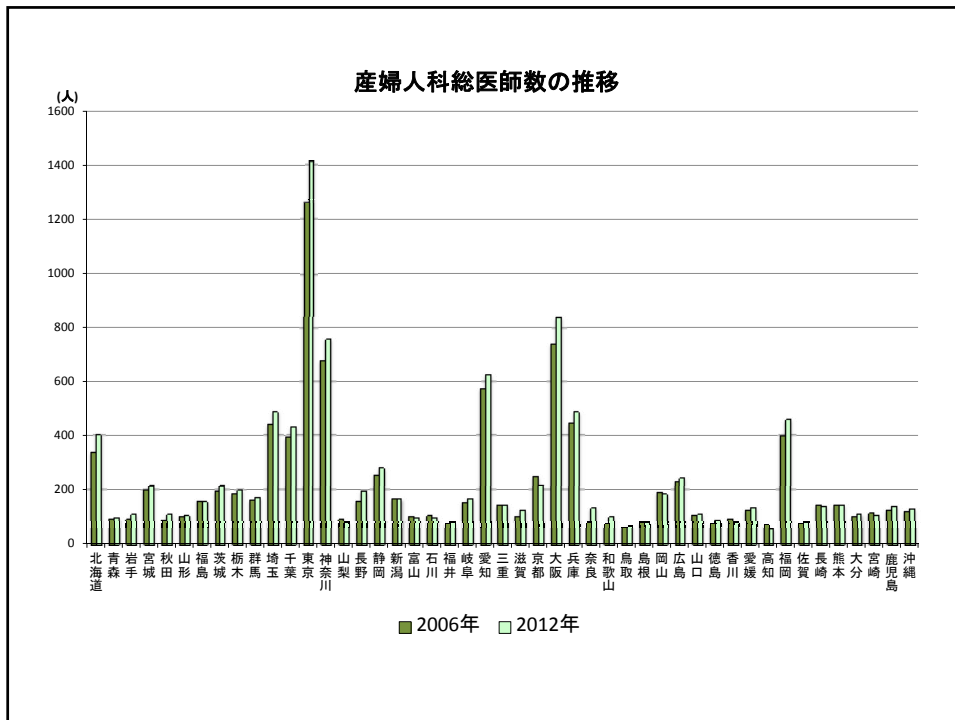


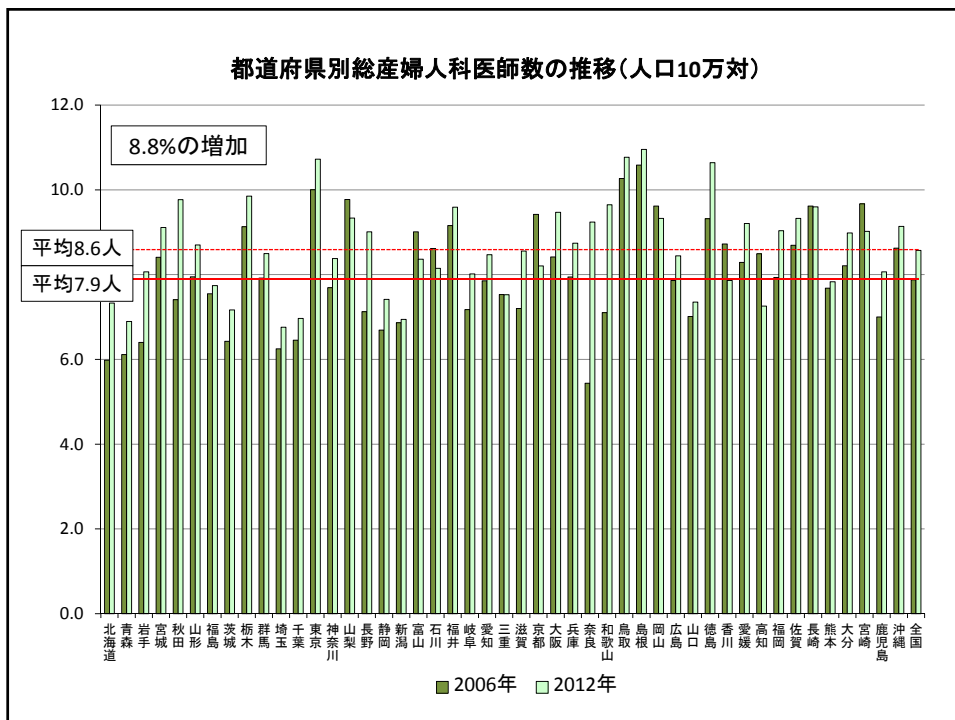
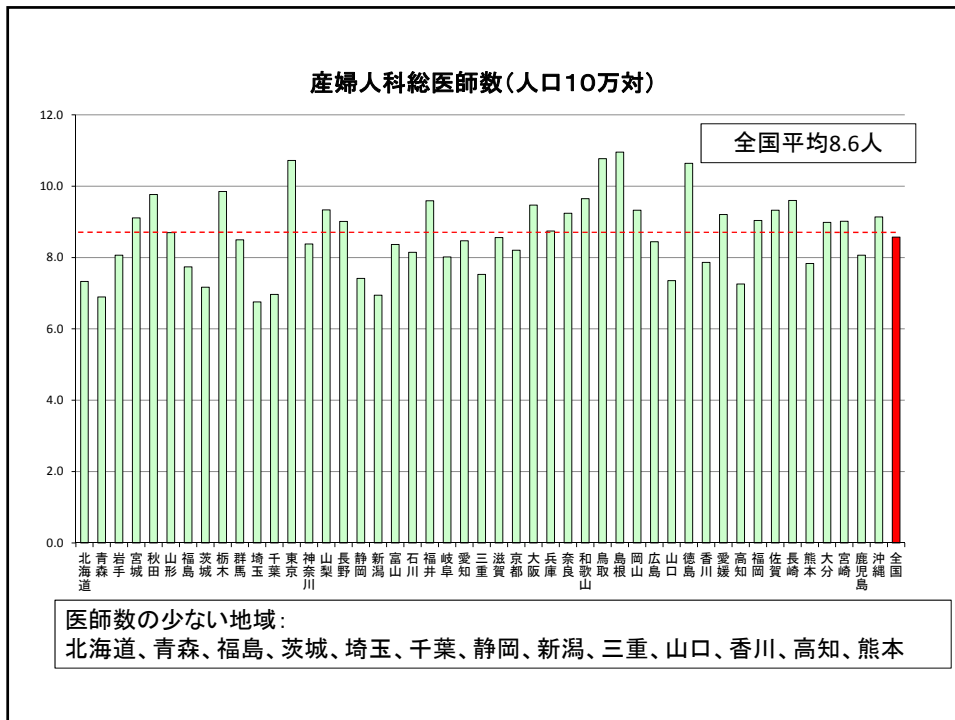
産婦人科医師の増加率は医師全体の増加率を下回り、分娩取扱施設の増加率はさらに低い。

産婦人科医師の地域偏在

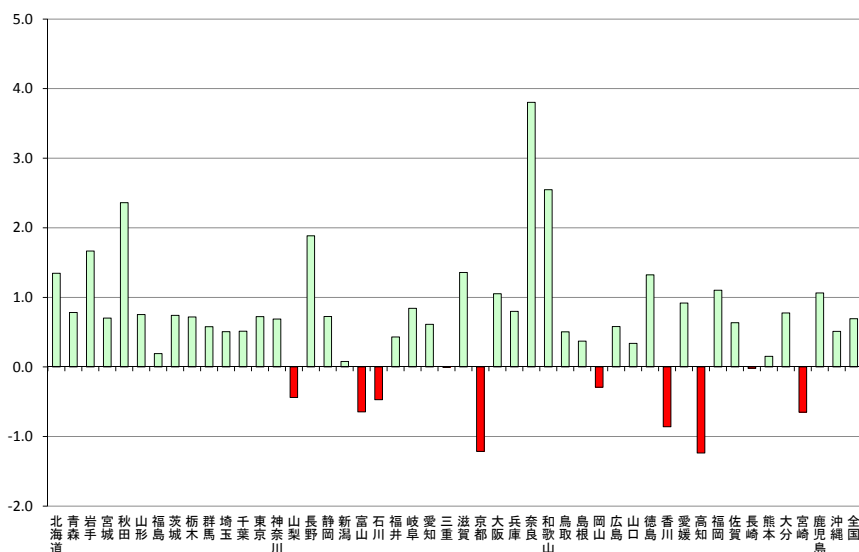
1. 全国届出医師数の動向
2. 産婦人科医師数の動向
- ③. 都道府県毎の状況
4. 分娩を取扱う医師の動向







医師総数増減(2006年—2008年比較:人口10万対)



8自治体で人口10万人あたりの産婦人科医師数は減少している。

産婦人科医師数の推移

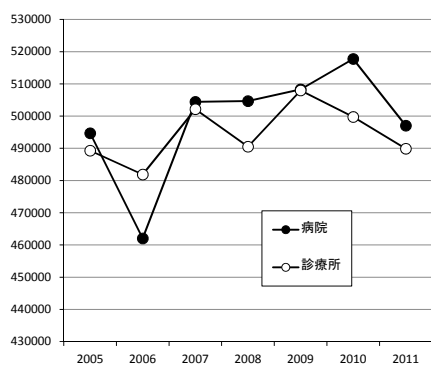
	総数			人口10万対				総数			人口10万対		
	2006	2012	増減	2006	2012	増減		2006	2012	増減	2006	2012	増減
北海道	335	402	67	6.0	7.3	1.3	滋賀県	100	121	21	7.2	8.6	1.4
青森県	87	94	7	6.1	6.9	0.8	京都府	249	216	-33	9.4	8.2	-1.2
岩手県	88	106	18	6.4	8.1	1.7	大阪府	742	839	97	8.4	9.5	1.1
宮城県	198	212	14	8.4	9.1	0.7	兵庫県	444	488	44	7.9	8.7	0.8
秋田県	84	105	21	7.4	9.8	2.4	奈良県	77	129	52	5.4	9.2	3.8
山形県	96	101	5	7.9	8.7	0.8	和歌山県	73	96	23	7.1	9.6	2.5
福島県	157	154	-3	7.5	7.7	0.2	鳥取県	62	63	1	10.3	10.8	0.5
茨城県	191	212	21	6.4	7.2	0.7	島根県	78	78	0	10.6	11.0	0.4
栃木県	184	197	13	9.1	9.9	0.7	岡山県	188	181	-7	9.6	9.3	-0.3
群馬県	160	170	10	7.9	8.5	0.6	広島県	226	241	15	7.9	8.4	0.6
埼玉県	442	487	45	6.3	6.8	0.5	山口県	104	106	2	7.0	7.4	0.3
千葉県	392	433	41	6.5	7.0	0.5	徳島県	75	83	8	9.3	10.6	1.3
東京都	1266	1415	149	10.0	10.7	0.7	香川県	88	78	-10	8.7	7.9	-0.9
神奈川県	679	759	80	7.7	8.4	0.7	愛媛県	121	131	10	8.3	9.2	0.9
山梨県	86	80	-6	9.8	9.3	-0.4	高知県	67	55	-12	8.5	7.3	-1.2
長野県	156	193	37	7.1	9.0	1.9	福岡県	401	459	58	7.9	9.0	1.1
静岡県	254	278	24	6.7	7.4	0.7	佐賀県	75	79	4	8.7	9.3	0.6
新潟県	166	164	-2	6.9	6.9	0.1	長崎県	141	136	-5	9.6	9.6	0.0
富山県	100	91	-9	9.0	8.4	-0.6	熊本県	141	142	1	7.7	7.8	0.2
石川県	101	95	-6	8.6	8.1	-0.5	大分県	99	107	8	8.2	9.0	0.8
福井県	75	77	2	9.2	9.6	0.4	宮崎県	111	102	-9	9.7	9.0	-0.7
岐阜県	151	166	15	7.2	8.0	0.8	鹿児島県	122	137	15	7.0	8.1	1.1
愛知県	574	628	54	7.9	8.5	0.6	沖縄県	118	128	10	8.6	9.1	0.5
三重県	141	139	-2	7.5	7.5	0.0	全国	10065	10953	888	7.9	8.6	0.7

12の自治体で医師数は減少し、青森、埼玉、新潟で特に人口あたりの医師が少ない。

産婦人科医師の地域偏在

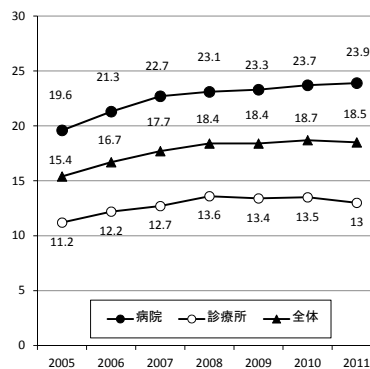
1. 全国届出医師数の動向
2. 産婦人科医師数の動向
3. 都道府県毎の状況
- ④ 分娩を取扱う医師の動向

病院、診療所の取扱分娩件数の年次推移



実際の分娩が行われた年を表示

帝王切開率の推移



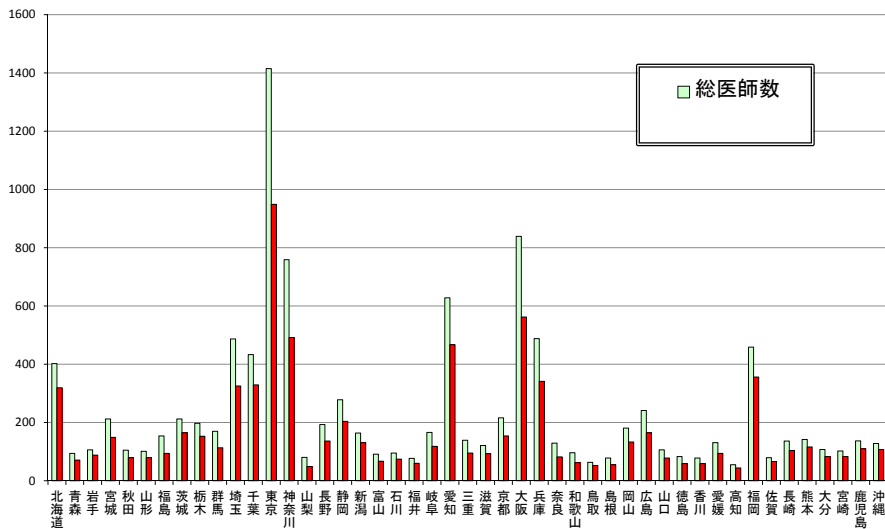
ある程度、施設機能に応じてリスクは分配されている。

分娩施設医師数の推移2006年-2012年

回収率	医師		病院		診療所			合計 分娩数/医師数	
	総数	常勤医師数	年間分年数	分娩数/医師数	常勤医師数	年間分年数	分娩数/医師数		
2006	96%	7,325	5,057	494,677	97.8	2,268	489,236	215.7	134.3
2007	88%	6,564	4,485	462,029	103.0	2,079	481,675	231.7	143.8
2008	96%	7,183	4,927	504,419	102.4	2,256	501,967	222.5	140.1
2009	90%	7,027	4,915	504,658	102.7	2,112	490,471	232.2	141.6
2010	96%	7,455	5,242	508,311	97.0	2,213	507,675	229.4	136.3
2011	97%	7,759	5,571	517,755	92.9	2,188	498,979	228.1	131.0
2012	96%	7,858	5,686	512,030	90.0	2,172	496,027	228.4	128.3
2006年比		533	629	1,735	-7.9	-96	6,791	12.7	-6.0

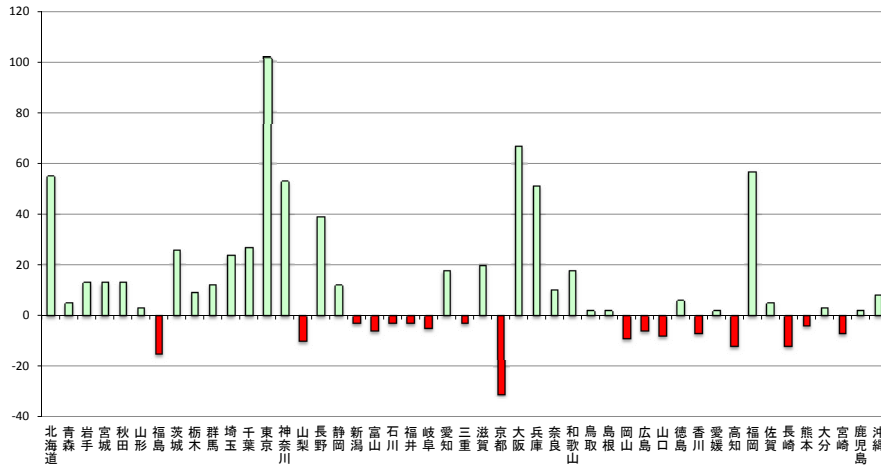
分娩数は前年の総数

2012年都道府県別産婦人科総医師数(10953名)
と分娩施設医師数(7858名:71.7%)



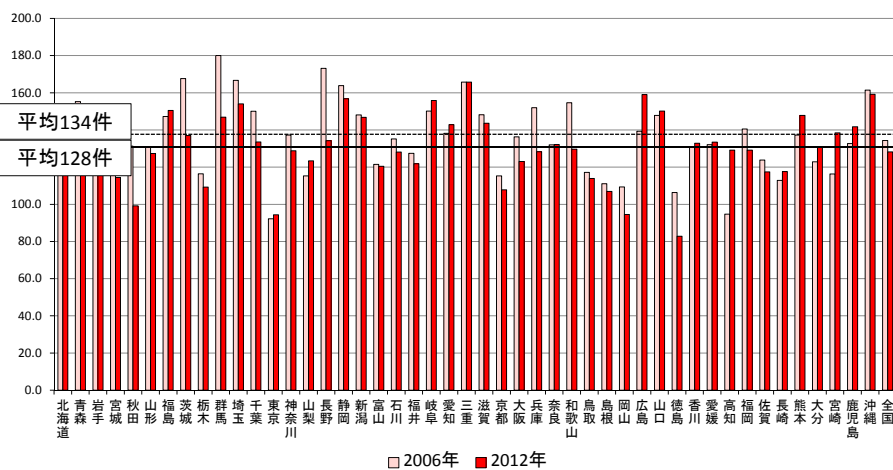
2006年分娩医師/総医師数 (7325/10065: 72.8%)

2012年分娩取扱医師数(2006年との比較)



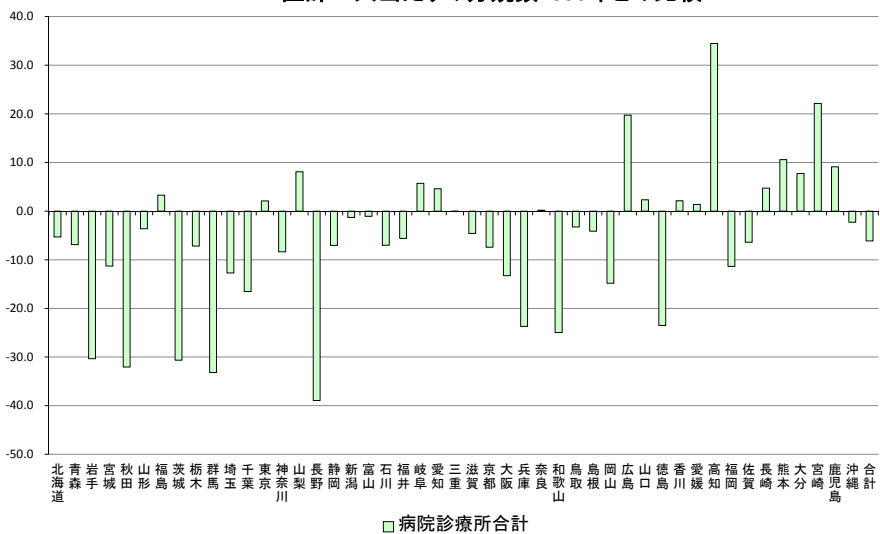
全産婦人科医師の推移に比較し、
分娩取扱医師はより多くの地域(17自治体)で減少している。

医師一人当たりの分娩数の推移



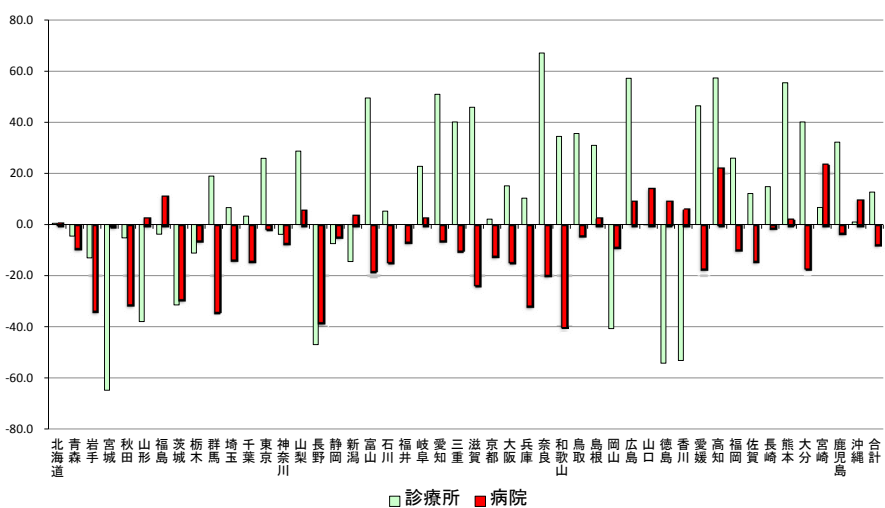
医師1人あたりの分娩数は年間134件から128件に減少？(横ばい)

医師一人当たりの分娩数2006年との比較



17自治体で取扱分娩数は増加している。

医師一人当たりの分娩数2006年との比較



多くの自治体で病院医師の年間分娩数は減少している。
各自治体でその特性に合わせ機能的に対応していることを示す。

分娩施設医師数の推移

	常勤医師数			医師1人あたりの分娩数				常勤医師数			医師1人あたりの分娩数		
	2006	2012	増減	2006	2012	増減		2006	2012	増減	2006	2012	増減
北海道	264	319	55	134	129	-5	滋賀県	72	92	20	148	145	-3
青森県	66	71	5	155	148	-7	京都府	185	154	-31	115	108	-7
岩手県	75	88	13	146	116	-30	大阪府	495	562	67	136	123	-13
宮城県	136	149	13	126	114	-11	兵庫県	290	341	51	152	128	-24
秋田県	66	79	13	131	99	-32	奈良県	71	81	10	132	134	2
山形県	76	79	3	131	127	-4	和歌山県	44	62	18	155	130	-25
福島県	109	94	-15	147	150	3	鳥取県	50	52	2	117	114	-3
茨城県	139	165	26	168	137	-31	島根県	53	55	2	111	107	-4
栃木県	143	152	9	116	110	-6	岡山県	142	133	-9	109	95	-15
群馬県	101	113	12	180	147	-33	広島県	171	165	-6	139	159	20
埼玉県	301	325	24	167	154	-13	山口県	86	78	-8	148	150	2
千葉県	301	328	27	150	134	-16	徳島県	53	59	6	106	83	-24
東京都	847	949	102	92	94	2	香川県	66	59	-7	131	133	2
神奈川県	439	492	53	137	129	-8	愛媛県	92	94	2	132	133	1
山梨県	59	49	-10	115	123	8	高知県	56	44	-12	95	129	34
長野県	97	136	39	173	134	-39	福岡県	299	356	57	140	129	-11
静岡県	192	204	12	164	157	-7	佐賀県	61	66	5	124	117	-6
新潟県	132	129	-3	148	149	1	長崎県	116	104	-12	113	118	5
富山県	73	67	-6	122	120	-1	熊本県	120	116	-4	137	148	11
石川県	77	74	-3	135	128	-7	大分県	80	83	3	123	131	8
福井県	63	60	-3	127	122	-6	宮崎県	90	83	-7	116	138	22
岐阜県	123	118	-5	150	156	6	鹿児島県	108	110	2	133	142	9
愛知県	449	467	18	138	143	5	沖縄県	99	107	8	161	159	-2
三重県	98	95	-3	166	166	0	全国	7325	7858	533	134	128	-6

17自治体で分娩施設の医師数は減少し、取扱分娩数は増加している。

産婦人科医師の増減(2006年との比較)

	人口		医師1名の			人口		医師1名の	
	総数	10万対	分娩医師	分娩数		総数	10万対	分娩医師	分娩数
北海道	67	1.3	55	-5	滋賀県	21	1.4	20	-3
青森県	7	0.8	5	-7	京都府	-33	-1.2	-31	-7
岩手県	18	1.7	13	-30	大阪府	97	1.1	67	-13
宮城県	14	0.7	13	-11	兵庫県	44	0.8	51	-24
秋田県	21	2.4	13	-32	奈良県	52	3.8	10	2
山形県	5	0.8	3	-4	和歌山県	23	2.5	18	-25
福島県	-3	0.2	-15	3	鳥取県	1	0.5	2	-3
茨城県	21	0.7	26	-31	島根県	0	0.4	2	-4
栃木県	13	0.7	9	-6	岡山県	-7	-0.3	-9	-15
群馬県	10	0.6	12	-33	広島県	15	0.6	-6	20
埼玉県	45	0.5	24	-13	山口県	2	0.3	-8	2
千葉県	41	0.5	27	-16	徳島県	8	1.3	6	-24
東京都	149	0.7	102	2	香川県	-10	-0.9	-7	2
神奈川県	80	0.7	53	-8	愛媛県	10	0.9	2	1
山梨県	-6	-0.4	-10	8	高知県	-12	-1.2	-12	34
長野県	37	1.9	39	-39	福岡県	58	1.1	57	-11
静岡県	24	0.7	12	-7	佐賀県	4	0.6	5	-6
新潟県	-2	0.1	-3	1	長崎県	-5	0.0	-12	5
富山県	-9	-0.6	-6	-1	熊本県	1	0.2	-4	11
石川県	-6	-0.5	-3	-7	大分県	8	0.8	3	8
福井県	2	0.4	-3	-6	宮崎県	-9	-0.7	-7	22
岐阜県	15	0.8	-5	6	鹿児島県	15	1.1	2	9
愛知県	54	0.6	18	5	沖縄県	10	0.5	8	-2
三重県	-2	0.0	-3	0	全国	18.9	0.7	11.3	-6

12自治体で産婦人科医師総数は減少し、分娩施設の医師数は17自治体で減少した。

産婦人科医師の地域偏在

1. 2006年と比較し、産婦人科医師は888名(8.8%)増加したが、この増加率は厚労省が示す届出医師総数の増加率(推定9.4%)を下回り、分娩施設の医師の増加率はさらに低い(533名:7.3%)。
2. 12の自治体で産婦人科医師数は減少し、8の自治体で人口10万人あたりの産婦人科医師数も減少している。
3. 17自治体で分娩施設の医師は減少し、医師1人当たりの取扱分娩数は増加し、地域偏在は分娩取扱施設で顕著である。
4. 以上の結果は、これまでに国、自治体で行われている様々な医師確保事業が不十分であることを示唆し、さらなる産婦人科医師確保の必要性を強調するものである。